

第3号様式（第8条関係）

2022年3月31日

2021（令和3）年度 地域おこし協力隊実績報告書

余市町長 様

余市町地域おこし協力隊員 本間 朋子

2021（令和3）年度余市町地域おこし協力隊の活動内容について、余市町地域おこし協力隊設置要綱第8条第2号の規定により、その実績として関係書類を添えて報告致します。

関係書類

- 1、地域おこし協力隊活動報告レポート
- 2、ワイン検定ポスターチラシ、町内配布実績
- 3、余市紅志高校「産業社会と人間」生徒感想

## 2021（令和3）年度 地域おこし協力隊活動報告レポート

### 1、余市町公式媒体で「地域おこし協力隊」関連記事の取材・編集・執筆

余市町広報誌や公式ホームページに、余市町地域おこし協力隊員の活動などを紹介する記事を取  
材、執筆した。詳細は以下のとおり。

- ・ 靱木隊員の2020年度の活動報告記事（町広報誌に掲載）
- ・ 田口隊員の着任紹介記事（町広報誌に掲載）
- ・ 實田隊員、高松隊員、田口隊員、本間の紹介記事（町ホームページに掲載）



「ドメーヌ タカヒコ」で活動中の高松隊員に取材

### 2、「地域おこし協力隊 座談会」（協力隊募集事業）の取材・編集・執筆

総務部企画政策課が主導した「地域おこし協力隊 座談会（協力隊募集事業）」において、撮影、  
編集、記事の執筆を担当した。具体的には、座談会当日のカメラマンの手配と事前ラフによる撮  
影の指示、さらに、町民に周知する目的で座談会の内容をまとめた冊子（町広報誌に折り込み配  
布）の編集及び記事を執筆した。

### 3、「『髭男爵・ひぐち君』を交えた鼎談」（協力隊募集事業）のアテンド・取材・執筆

企画政策課が主導した「地域おこし協力隊募集事業」の一環の鼎談企画（町長、「髭男爵・ひぐち  
君」、高松隊員）」で、樋口さんのアテンド及び、鼎談の司会、記事の編集・執筆を行った。



3日間の視察で、2軒のブドウ農家と6軒のワイナリーを訪問した。

#### 4、「余市のワイン」や余市町のプロモーションを実施

首都圏の出版社を中心に、余市町のシティープロモーションや余市のワインのPR発信を行った。具体的には、旧知の編集者や出版社を訪れ、余市町の観光パンフレットや余市のワインの情報を提供。また、自身が所属する「食生活ジャーナリストの会」（代表幹事：畑中三応子／食文化研究家）と「日本旅行記者クラブ」（代表幹事：交通新聞社）の会員に向けて、メールでの情報提供や定期総会でのプロモーションを行った。

#### 5、雑誌・会員誌での「余市のワイン」に関する記事の取材・執筆

2021年度に取材・執筆した、余市町に関する記事が載った媒体は以下のとおり。

- ・雑誌「Discover Japan」
- ・雑誌「ワイン王国」
- ・高島屋ゴールド会員誌「タカシマヤサロン」
- ・Webサイト「北海道ライカーズ」（3、の地域おこし協力隊事業）

#### 6、「余市のワインあります。ステッカー」の作成

余市町内のワイナリーのワインのみならず、余市町内産のブドウで造るワインを「余市のワイン」と定義し、「余市のワイン」を扱っている飲食店や酒屋などに掲示してもらおうステッカーを作成。余市町内や東京で配布した。今後は、掲示店への取材を進めたい。



#### 7、「余市町ワイナリーマップ」の作成

實田隊員、高松隊員がプレゼンターを務めた「Sommelier's Dinner」（@小樽アンワインドホテル）で参加者に配布するワイナリーマップを作成した。デザインは余市町内のデザイン事務所「マニデザイン」に発注し、編集とコピー執筆を担当した。



## 8、日本ソムリエ協会「ワイン検定」ブロンズクラス、シルバークラスの実施

(一社) 日本ソムリエ協会が主催するワイン検定を余市町内で実施。ワイン初心者むけに、ワインに親しむための知識を取得する検定を行った。開催日と参加者数は以下のとおり。

- ・ 2021年9月11、12日 ブロンズクラス 16名 (コロナ対応のため実際の参加者は15名)
- ・ 2021年11月27日 シルバークラス 7名 (コロナ対応のため実際の参加者は5名)
- ・ 2021年3月12、13日 ブロンズクラス 5名



## 9、ワイン検定に伴う「ワイン会」の実施

上記のワイン検定シルバークラスの実施に伴って補講を行った。その際に、その日学んだ国のワインをテイスティングする「ワイン会」を開催。世界のワイン産地への理解を深めると同時に、世界における余市町のワインの位置づけについて考えるきっかけを作った。



## 10、余市町内の公立高校、公立中学校での授業

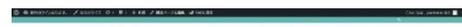
余市町立西中学校と北海道立余市紅志高校で授業を実施。テーマは以下のとおり。

- ・ 9月29日 紅志高校3年生 課題研究Ⅱ「相手の話を引き出すコツと話し方のポイント」
- ・ 11月9日 西中学校3年生 総合的な学習その3 地域おこし協力隊の活動の紹介
- ・ 12月1日 紅志高校1年生 「産業社会と人間」 地域おこし協力隊の活動の紹介



## 1 1、SNS での情報発信と独自メディア（ホームページ）の開設

Facebook と Instagram での日常の情報発信に加えて、ホームページ「余市のワインあります。」を開設。ホームページは「ワインで地域おこし」を進めている余市町について、おもにワインやその周辺の情報を切り口に広報 PR する役割を担うもの。ホームページの開設に向けて、町内の人の取材や風景写真の撮影など準備を進めた。また、町外においても、町内産のブランド豚「北島豚」で生ハムを製造している「北一ミート」などの取材も行った。次年度以降、定期的にコンテンツが更新されるサイトを目指す。



## 1 2、地域おこし協力隊向け SNS セミナーの受講

NPO 法人北海道ふるさと回帰支援センターが市民活動プラザ星園（札幌市中央区）で行った SNS 運用スキルアップ講座を受講。7 月 13、14 日の 2 日間にわたって、ワークショップ「地域の魅力を伝える SNS 運用スキルアップ講座」と「地域の情報発信とは一」について学んだ。